

11月21日 (火)

明かりをつけなさい！

聖書朗読 ヨハネ 9：1～12

「これはすわって物ごいをしていた人ではないか。」

ヨハネ 9：8

少し前に、私は高校のクラスメイトに偶然出会いました。20年ぶりぐらいの再会でした。一緒に学校に通っていた時、彼にとって信仰はそこまで大切なものではありませんでした。なので、再会の時に彼がまず、自分のミニストリーの話をし始めたことに驚きました。

時に、イエス様と出会った人が、以前とあまりにも変わっていて、すぐに気づくことができないことがあります。私たちが会おう多くの人は暗闇の中を迷い歩いていて、本物が見えていないのです。そして私たちも、気をつけていないと失われた者として彼らを見てしまいます。しかし、本物がまだ見えていない彼らがイエス様と出会った時、今日の聖書箇所の人のように、彼らは明かりがついたように輝き始めるのです。それが神様の恵みの素晴らしさです。彼らは完全に変えられた者になるのです。そして、聖霊が彼らの中にとどまり、周りの人が認識できないほどに新しい人となるのです。

私たちが人々を見るときに、キリストによって

救われる者として見るができるように。

クリスチャンとなることは、

良いことをすることではなく、

主のして下さったことを気付き、受け入れていくことである。

エヴァリン・アンダーヒル

讃美歌 II 167

祈り 主よ、あなたの視点で物事を見ることができるよう助けてください。私たちが、友人や周りの人の心に目をとめ、あなたが私たちの目を開いてくださったように、彼らの目をあなたが開いてくださることを信じることができますように。彼らが、私たちを通してあなたの姿を知ることができますように。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

ウェス・ホーン

テキサス州 スタンフォード

11月22日 (水)

スポットライト

聖書朗読 ヨハネ 12：20～29

主よ。だれがあなたを恐れず、御名をほめたたえない者があるでしょうか。ただあなただけが、聖なる方です。すべての国々の民は来て、あなたの御前にひれ伏します。あなたの正しいさばきが、明らかにされたからです。

黙示録 15：4

スポットライトはさまざまな場所で使われます。ステージや看板に光を当てるために、また、犯人を探すのにも使われます。イエス様は、父なる神に光を照らすために来られました。神を賛美することは神様の素晴らしさと偉大さを掲げること、つまり、神様に光を当てることです。人々はその光に引き寄せられ、イエス様のもとに来ました。イエス様の死の時が近づいた時も、イエス様はご自身の十字架と復活が多くの人を信仰に導き、福音の種を蒔くことになることを知っていました。

つまり、イエス様はご自分に光を当てる時が来たことを知っていました。しかし、イエス様の心には、苦しみと不安がありました。私たちの罪を背負うことは想像以上のものだったからです。その中でも、イエス様はご自身の復活こそが、闇を追払い、神を賛美する、まさに神様とイエス様にスポットライトを当てることになると知っていました。つまり、イエス様の復活こそが、人々が神様を賛美することへと導くのです。そして、十字架と復活を通して、福音の光は弟子たちによって広められたのです。

月は、自分が輝くのではなく、太陽の光を反射することによって太陽の輝きを示しています。私たちは、私たち自身を輝かせるのではなく、御子を崇めることを通して、キリストを現します。もし、私たちが自分たちにスポットライトを当てるのなら、私たちは私たちのままです。しかし、キリストの光を私たちを通して輝かせるのなら、イエス様の光を反射させ、周りの人を惹きつけることができるのです。

私たちの中にキリストに光を当てることを妨げるものがあるとしたら、それは取り除いて行きたいですね。

讃美歌 533

祈り 神様、私たちが自分ではなく、あなたに光を当てるために生きることができるように助けて下さい。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

マーク・ゴメズ

テキサス州 ベッドフォード

11月23日(木)

喜びの心

聖書朗読 ヨハネ 15:10~15

わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、わたしの喜びがあなたがたのうちにある、あなたがたの喜びが満たされるためです。

ヨハネ 15:11

私は、何に喜びを見出しているのでしょうか。この質問を自分に投げかけたことがある人もいないかもしれません。数年前、ある伝道者が真の喜びの簡単な覚え方を教えてくれました。それは、JOY(喜び)はイエス様(Jesus)を愛し、他者(Others)を愛し、そして自分(Yourself)を愛することだということです。

イエス様に従うことが私たちの喜びです。なぜならイエス様はご自身の命を犠牲にするほどに私たちを愛してくださいました。イエス様が私たちを愛して下さっています。そして、私たちがキリストとともに歩む時、私たちは、主にあって満たされているという確信を持つことができます。いつの日か、イエス様とともに天国に行く希望があるということはなんと素晴らしいことでしょうか。

家族、友達、知らない人に対しても何か助けになることができる時、私たちは神様の働きを担っている喜びを感じます。神様は、私たちが人にしてもらいたいように、周りの人にもそのようにするよう教えられています。多くの人が、愛され、支えられたいという願いを持っているのです。ルカの福音書3章38節には「与えなさい。そうすれば、自分も与えられます」とあります。

自分を霊的、精神的、身体的にケアをすることはあなたに喜びを与えます。そしてこれらのことは神様と人に仕えるために必要なことなのです。祈り、神に信頼し、与えられているめぐみに感謝することは、困難においても、支えとなります。

讃美歌 527

祈り 天の父よ、あなたの子とされ、あなたから受けている喜びを感謝します。私たちのイエス様とともにある日々の歩みを守り、人に愛と優しさを示すことができますように。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

ジェーン・ポー・マッセイ
テキサス州 ヒューストン

11月24日(金)

勇気

聖書朗読 使徒の働き 4:1~10

「わたしはあなたがたに命じたのではない。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、主が、あなたの行く所どこにでも、あなたとともにあるからである。」

ヨシュア 1:9

ある時、教会の兄弟が私の家のキッチンでヨシュア記1章9節の賛美を「雄々しくあれ、強くあれ」と口ずさみ始めました。聖書の中でも有名な箇所、暗唱聖句として、壁掛けやしおりなどに書かれているのをよく見かけます。しかし、聖書の中で見られる勇敢な姿は、多くの場合逆境に置かれている時に見られます。

使徒の働きの中で、ペテロとヨハネは人々にイエス様のことを教える中で捕らえます。足のなえた人を癒したことが理由とされていますが、実際は多くの人が弟子たちの言葉を信じたことを祭司たちは恐れたのです。ペテロは指導者や祭司たちに堂々と立ち向かいました。相手はゴリアテではなく、イエス様を十字架にかけた人々でした。なんの権威によって、また、だれの名によってこの男を癒したのかと問われたパウロは、イエス・キリストの名によって癒されたのですと答えました。ペテロは、おそらく「雄々しくあれ、強くあれ」の歌を知らなかったと思いますが、私は誰かにイエス様のことを聞かれた時によくこの賛美を思い出します。私たちはさまざまな場面で勇気を必要とします。そして聖書には、勇気をもって立ちむかった方々のたくさんの例が書かれています。この勇気があれば、どんな力にも、どんな逆境にも私たちは立ち向かうことができるのです。

讃美歌 267

祈り 父よ、どんな時でもあなたの名によって話す勇気を私たちにお与えください。語るべきことを語り、すべきことを行うことができるように私たちが整えてください。いつでも仕える心を忘れることないように導きください。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

ラニ・ロピキュット
テキサス州 サイプレス

11月25日(土)

奉仕に召される

聖書朗読 ローマ 12:3~8

それぞれが賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの良い管理者として、その賜物を用いて、互いに仕え合いなさい。

I ペテロ 4:10

「私には特技がないんです。」教会での奉仕を勧めた時に、このような返事を聞いたことはありませんか。もしかしたら、あなた自身もこんなことを言ったことがあるかもしれません。なぜか、選ばれた数人にもみ特別なスキルが与えられていて、自分はそれには含まれないとってしまうことがあります。しかし、今日の聖書箇所は異なる視点で描かれています。「それぞれが」と書かれているように、全てのクリスチャンは必ず一つは奉仕のために神様から賜物を与えられているのです。どのようにして私たちはその賜物を見つければよいのでしょうか。

時に、私たちの賜物は幼い時からはっきりとしています。ある人には秀でた芸術的センスや音楽の才能などが与えられているかもしれません。しかし、賜物が私たちの奥深くに隠され、見つけられることを待ちながら、使われることなく眠っていることがあります。見つけるためには、信仰を持って、ある賜物を与えられているかもしれないということに挑戦したり、今までやったことのないことにチャレンジしてみる必要があるかもしれません。子どもの聖書クラスの手伝い、青年会の祈祷会のリーダー、教会の昼食の準備を手伝う、家から出られない人を訪ねるなど、助けが必要なところと奉仕の機会はたくさんあります。

さあ、手を伸ばし、あなたの奉仕を通して周りの人を祝福しましょう。

讃美歌 391

祈り 主よ、イエス様が奉仕の例を見せてくださっていることを知っています。あなたが私たちそれぞれに与えてくださった賜物を見つけ、あなたと御国のためにそれを用いる意思と知恵を与えてください。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

ジャン・ノックス
テキサス州 グランベリー

11月26日(日)

スタンドグラス

聖書朗読 I コリント 12:4~13

しかし、みな益となるために、おのおのに御霊の現れが与えられているのです。

I コリント 12:7

私が、10歳の時、図工の時間にスタンドグラスを作りました。先生は、生徒それぞれに紙とのりとさまざまな形のカラフルな色紙を渡してくれました。私たちは、大きな紙に色紙をのせて、自分が満足する図柄ができるまで、調整をしました。そして糊付けをしました。

次の日の朝教室に行くと、私たちのスタンドグラスが教室の壁一面に貼られていました。動物、家、星、山、全部違う絵柄でした。小さな手で、小さな色紙をこんなにも素敵な作品に変えたのです。私はローマ書12章3節から8節を読むたびに、このスタンドグラスの作品を思い出します。小さな色紙一つひとつが一つの絵を完成させるのには必要だったのです。

私たちの賜物やタレントが何であれ、私たちは神様の教会の重要な要素の一つです。それぞれのクリスチャンが神様から与えられた能力に応じて、教会に参加しています。他の人より勝っている人はいません。スタンドグラスの色紙のように、私たちはユニークでそれぞれが大切な役割を担っているのです。そして、私たちはすべて神様の光を、それぞれの方法で映し出しているのです。

讃美歌 II 188

祈り 天の父なる神様、日々多くの恵みをありがとうございます。あなたの光を照らすことができますように。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

クリスティン・アダムス
ニューメキシコ州 ホップス